

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

| 達成度（評価） |             |
|---------|-------------|
| A       | 十分達成できている   |
| B       | おおむね達成できている |
| C       | やや不十分である    |
| D       | 不十分である      |

|                  |   |
|------------------|---|
| 学校名              | 武雄市立若木小学校   |
| 1 前年度<br>評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響でICT化に対する職員のスキルが上がり、授業のライブ配信やオンライン授業等を、抵抗なく取り組むことができた。</li> <li>・小規模校の強みをいかして、職員間での相談や課題の共有を重ねた結果、全体的におおむね良好な結果となった。</li> <li>・コロナ禍をポジティブに考えて、カリキュラムや学校行事を見直していく必要がある。</li> </ul>  |
| 2 学校教育目標         | ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成  |
| 3 本年度の重点目標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>① ICT機器の利活用による授業改善や、望ましい学習習慣の定着を図ることで「わかる子ども」を育成する。</li> <li>② 人権教育や特別活動を充実させることで「かんしゃする子ども」を育成する。</li> <li>③ 食育指導や体育的行事、保健指導の充実を図ることで心身ともに健康な「きたえる子ども」を育成する。</li> <li>④ 地域の特徴・人材を活用する若木ならではの教育活動を行い、地域との連携を図るとともに、業務の改善を図る</li> </ul> |

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

| (1)共通評価項目          |   |  | 中間評価  |             | 最終評価  |  | 学校関係者評価  |    | 主な担当者  |  |
|--------------------|---|--|---|-------------|---|--|--|----|--|--|
| 評価項目               | 重点取組<br>取組内容  | 成果指標<br>(数値目標)   | 具体的取組   | 進捗度<br>(評価) | 進捗状況と見通し  | 達成度<br>(評価)  | 実施結果   | 評価 |  | 意見や提言                                    |
|                    |   |  |   | ●学力の向上      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全職員による共通理解と共通実践</li> <li>①問題文を正確に読み取るための手立てを取り入れる。</li> <li>②自分の考えを表出するための書く活動を取り入れる。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上</li> <li>◎学校評価アンケートによる自己評価で、①「問題文を正確に読み取る力をつけるための指導を行った」と②「自分の考えを書いたり、説明したりする力を育てる指導を行った」の達成率が90%以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間でマイプランを共有するとともに、学力向上対策の話し合いにより、取り組みの促進を図る。</li> <li>①問題文のキーワードに線を引ながら読む活動を取り入れる。</li> <li>②ノートやワークシートに自分の考えを書く時間を確保する。</li> </ul>  | B  |  | ・マイプランの成果指標を達成できたと申告する教師は75%。            |
| ●心の教育              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の学校評価アンケートの道徳に関する項目において肯定的な評価が全体の80%以上</li> <li>○児童の学校評価アンケートの学校美化・ボランティア活動に関する項目において肯定的な評価が全体の80%以上</li> <li>○職員や保護者の学校評価アンケートにおけるいじめ防止など(いじめ防止のための取り組み)についての項目で肯定的な評価が90%以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権集会を充実させたり、ふれあい道徳を実施したりして、豊かな心を育む。</li> <li>・全校で苗植え、水やりを行う花いっぱい活動を実施する。</li> <li>・心のアンケートや生活アンケートを年間6回実施し、いじめの早期発見早期対応に努める。</li> <li>・毎週定期的に行う児童連絡会を通して、児童の悩みを共有し、必要に応じて対策会議を行いいじめの早期発見・早期対応に努めた。</li> </ul> | A           | ・平和集会やふれあい道徳を実施し、命の大切さなどの豊かな心を育む活動を実施することができた。 <li>・制限はあったが、田植えや敬老会へのお手紙作り等で地域の方々と交流を行い、感謝の気持ちも育むことができた。</li>                               | A  | ・学校評価アンケートの道徳に関する項目において肯定的な評価が全体の90%、人権集会や花いっぱい運動、国スポのほり旗制作などを計画的に実施し、豊かな心を育むことができた。 <li>・児童の学校評価アンケートの学校美化・ボランティア活動についての肯定的な評価が全体の90%で、達成できた。</li>  | A  | ・集会活動やふれあい道徳、地域のひととの交流など、豊かな心の育成ができています。今後も継続して豊かな心を育むことができるような取組をし、自分のことだけでなく、周囲のことに関心をもち、幅広い視野をもってほしい。         | 【かんしゃ部会】<br>道徳教育推進教員<br>人権・同和教育担当        |
| ●健康・体づくり           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○代表委員会や委員会活動、クラブ活動を100%実施する。</li> <li>○なかよし活動(縦割り班)や青空教室を100%実施する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表委員会や委員会活動、クラブ活動を年間計画通り実施し、集団への所属感や連帯感を味わわせる。</li> <li>・児童の自主性を尊重した活動を設定し、異学年の仲間と互いに助け合う雰囲気を作る。</li> </ul>   | A           | ・児童の自主性や集団への所属感、連帯感を高めるために、特別活動の研究を行い、各学級や学年を超えて、計画的に活動を実施した。 <li>・なかよし活動を4回実施した。青空教室は、6月はコロナ対応のために中止、9月は予定通り実施できた。</li>                    | A  | ・特別活動の研究での成果と課題を明らかにし、児童が自主的・実践的に取り組む授業の在り方を共通理解することができた。 <li>・異学年の交流を計画的に実施し、高学年の児童の自主性を育むことができた。</li>  | A  | ・様々な活動などを通して、特別活動の充実を図り、児童の活動意欲を高め、自主性を育てることができている。異学年交流や学校行事等、児童の活躍の場を多くすることで自信をつけようより人間関係につながり、将来に向けての芽が育っている。 | 【かんしゃ部会】<br>特別活動担当<br>委員会活動担当<br>クラブ活動担当 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間削減の意識向上</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務を効率的に行おうとする職員の意識を高める(時間外勤務時間45時間未満職員を90%以上)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定</li> <li>・退勤予定時間掲示ボード設置による意識改革</li> <li>・ICT活用による会議時間の短縮</li> </ul>  | B           | ・1学期に、全校遊びを1回実施。2学期は体育行事の工夫を行っていききたい。 <li>・朝食摂取調査を実施し、「朝ごはんをいつも食べる」と答えた児童が90%以上。</li> <li>・給食時間に食に関する全体指導を行った。2学期では、学級や教科での指導も行っていきます。</li> | A  | ・運動委員会が中心となって、1学期、2学期に1回ずつ全校遊びを実施した。体育的行事では、コロナ対策のため、持久走大会を実施することができなかった。児童アンケート達成率90%。 <li>・朝食摂取調査を実施し、「朝ごはんをいつも食べる」と答えた児童が90%以上。しかし、結果がより明確になるように、調査方法を検討していきたい。</li> <li>・給食時間に食に関する全体指導を行った。来年度は、保護者や児童への食育指導を計画的に実施していきたい。</li> | A  | ・業務の効率化に対する先生方の意識向上により、成果達成できている。業務に支障がないように働き方改革を推進してほしい。通勤距離が長い職員もいることから、できるだけ時間外勤務時間を軽減して健康維持に努めてほしい。         | 管理職                                      |

| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 |                |                | 中間評価  |             | 最終評価           |                | 学校関係者評価 |    | 主な担当者 |       |
|----------------------|----------------|----------------|-------|-------------|----------------|----------------|---------|----|-------|-------|
| 評価項目                 | 重点取組<br>取組内容   | 成果指標<br>(数値目標) | 具体的取組 | 進捗度<br>(評価) | 進捗状況と見通し       | 達成度<br>(評価)    | 実施結果    | 評価 |       | 意見や提言 |
|                      |                |                |       | ○           | ○(学校独自重点取組・任意) | ○(学校独自成果指標・任意) | ・       |    |       | ・     |
| ○                    | ○(学校独自重点取組・任意) | ○(学校独自成果指標・任意) | ・     |             | ・              |                | ・       |    |       |       |
| ○                    | ○(学校独自重点取組・任意) | ○(学校独自成果指標・任意) | ・     |             | ・              |                | ・       |    |       |       |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

|                |  |
|----------------|--|
| 5 総合評価・次年度への展望 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、限られた条件に合わせて、方法を変えたり、時間を短縮しながら取り組むことができた。</li> <li>・小規模校の強みをいかして、職員間での相談や課題の共有を重ねた結果、全体的におおむね良好な結果となったが、学力の向上は今後も課題である。</li> <li>・保護者や地域の方に対して来校の人数を制限する場面が多かったが、最後のロングの集会は、人数の制限なく行うことができ、行事で児童を育てることの重要性を感じた。</li> <li>・マスク着用などの考え方の変更に伴い、コロナ以前までのやり方に安易に戻すのではなく、コロナ禍で学んだ新しい考え方で方法を検討していく必要がある。</li> </ul> |
|----------------|--|